

予報期間 4月1日から4月7日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 4月3日は、高気圧が日本の東へ移動する。前線が華中から東シナ海へのび、前線上に低気圧が発生する。
- 4日から5日は、低気圧が日本海からオホーツク海に進み、前線が本州付近を通過して沖縄付近にのびる。
- 6日は、前線が日本の南にのびる。
- 7日は、前線が日本の東から日本の南にのびる。

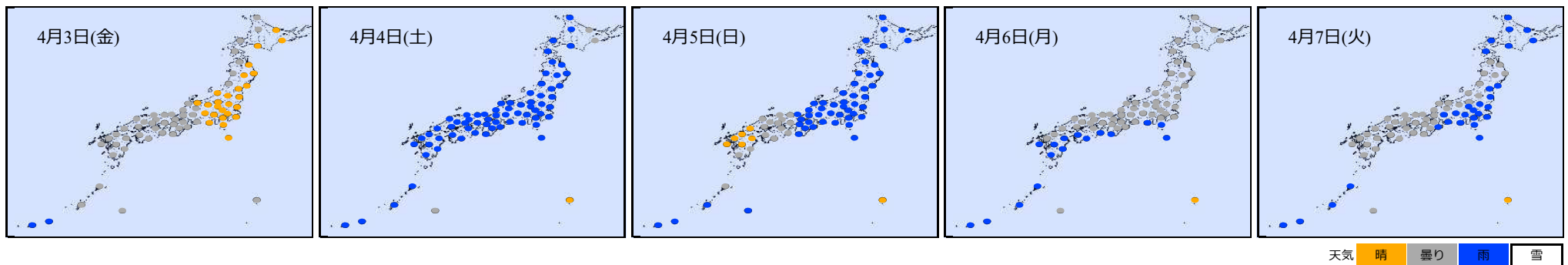
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 4月4日頃は、低気圧が発達しながら日本海へ進むため、西日本を中心に大雨や荒れた天気となる所があり、低気圧の発達によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

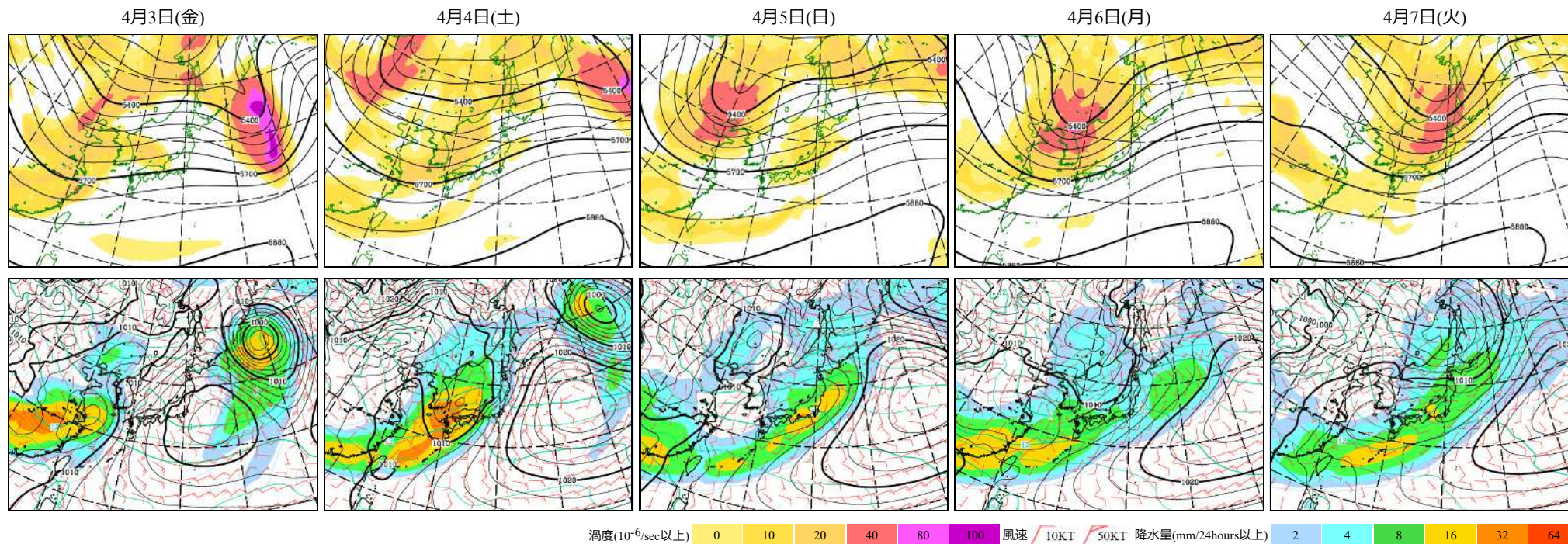
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

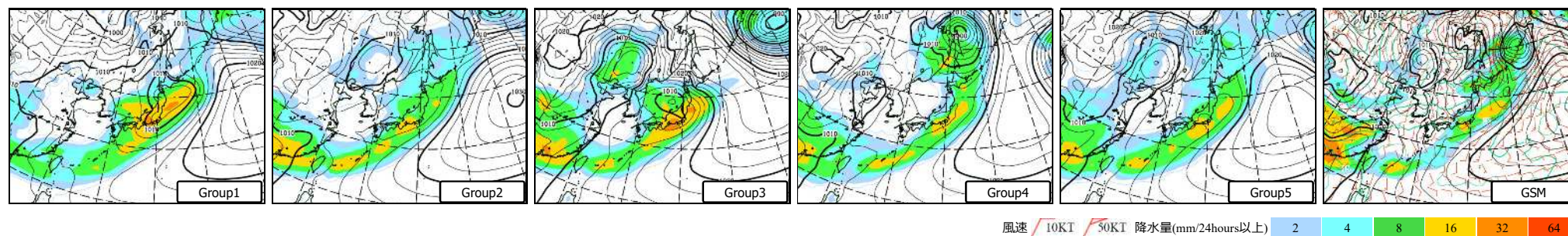


- 北日本と東日本は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、4月3日は晴れる所が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、5日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月5日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、3日は、東シナ海の低気圧の東進が遅くなった。4日は、日本海の低気圧が強くなった。5日は、東日本付近の低気圧が強くなった。6日は、中国東北区の低気圧が強くなり、東日本付近の気圧の谷が深くなった。
- 降水確率ガイダンスの値は、3日は西日本を中心に小さくなった。5日は、東日本で大きくなった。6日は西日本を中心に大きくなった。
- スプレッドは期間の後半は大きく、特定高度線のばらつきも大きい。
- 4日頃に日本海に進む低気圧の位置はモデル間でおおむねそろって来たが、6日から7日にかけて日本付近を通過する低気圧や前線の位置や強さはモデル間の差が大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。